

考えてみよう!

# 子どもが学び育つ習慣づくり!

社会が大きく変化する中、身に付けた知識・技能等を活用して課題を解決する力が求められています。そのためにも、家庭学習では授業で学んだ知識・技能を定着させることに加え、自ら学び続ける習慣を育むことが重要です。

## 子どもが伸びる家庭学習のために

家庭と学校が連携して、子どもの学習習慣づくりを支えるために、大切なことを「家庭学習のスタンダード(家庭用)」にまとめ、各家庭に配付しています。子どもの普段の様子を踏まえ、もう一度家庭での学習習慣について話し合しましょう。※県義務教育課HPにも掲載しています。

**Point 1** 家庭学習のルールを設定  
(始める時刻や学習場所)

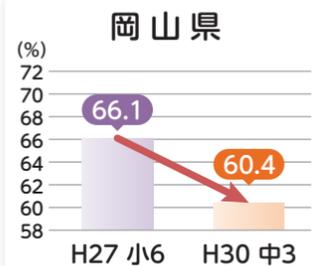
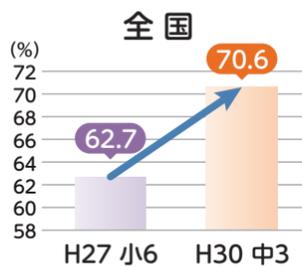
**Point 2** まず宿題、次に自主学習  
(小学生は学年×10分、中学生は2時間以上が目標)

**Point 3** 望ましい生活習慣の確立  
(早寝・早起き・朝ごはんとメディアコントロール)



学校の授業時間以外で平日1日あたり1時間以上勉強する子どもの割合(%)  
(学習塾などの時間も含まれます。)

1時間以上勉強する子どもの割合について、中学3年生が小学6年生(3年前)のときと比べると、全国的にはその割合が増えているのに対して、岡山県では減っています。



平成27年度及び平成30年度全国学力・学習状況調査より



岡山県の中学生は小学生の時より勉強時間が少ないんだね どうしてだろう…。

© 岡山県「ももっち」

## 学校・保護者・生徒の話し合いを

平成29年12月から「Stop!スマホ Start!スタディ!」キャンペーンを開始しており、県内各所で学校・生徒・保護者の話し合いの機会が設けられています。今夏、奈義町立奈義中学校では、家庭学習に関する生徒向けアンケート調査を行い、調査結果を基にして、PTA役員と生徒会との懇談会を行いました。

### テーマ「メディア利用時間と家庭学習について」

#### PTAの声

- 夢や目標に向かって、自分で計画的に学べるとよい。
- 何か自分でこれだと思ふものが見つかるまでは、まんべんなく、どの道でも選択できるようにしておくことが大切。
- 勉強って宿題だけ?中学校でも自主学習はできるのでは?

#### 生徒の声

- 3年生で全く勉強しない人がいるのは問題だ。
- 3年生は1日当たりのメディア時間が多すぎる。
- 家の人とルールを決めている人は、比較的ルールを守っている。
- どんなことをどのようにすればいいのか、自主学習のやり方を示して欲しい。



奈義中学校 懇談会の様子

## 子どものやる気を引き出す学校の取組

総社市立総社西中学校の校区では、小学校から中学校に学習習慣を円滑につなぐため、自主学習「いえべん」のスタンダード化に取り組んでいます。

### 総社西中学校スタンダード

- 1 学習の「めあて」を設定する。
- 2 「開始時刻～終了時刻」を記録する。
- 3 毎日1ページ以上取り組む。

生徒のやる気を維持するため、自主学習ノートは当日中に点検し、返却します。良いノートは、解説文をつけて全校で紹介します。

学習内容を自分で計画し、着実に実行する経験の積み重ねが、将来を切り開くための確かな学力の土台となります。



自主学習ノート1冊を終えるとチャレンジカードが1枚配付され、5枚貯まると表彰されます。カードは小学校から中学校へ引き継がれるため、子どものやる気も一緒に引き継がれます。チャレンジカードとJSG認定証※写真はサンプルです。

